

科 目 名
<b>病院薬学</b> Hospital Pharmacy

4年 後期 2単位 必修

瀬尾 量・山崎 啓之  
緒方 郁子・森内 宏志  
(医療薬剤学) (臨床薬学)

### 概要・学習目標

有効かつ安全な薬物治療が達成されるためには、医薬品が医薬品情報に基づいて適正に使用されることが前提になる。一方、薬物療法の多様化・高度化に伴い、医薬品情報は急速に増え続けている。このような中で、医薬品の適正使用のキーマンである薬剤師には、膨大化する医薬品情報を迅速かつ正確に収集、評価、加工し、わかりやすく他の医療スタッフおよび患者に提供するというスキルが求められている。本講義では、医薬品情報を正しく理解し、取り扱うことができるようになることを目的として、医薬品情報のなりたちと創出法、迅速かつ正確な収集法、質の評価法、効果的な提供法および活用法について講述する。

### 授業計画

1. 医療における医薬品情報の位置付け
2. 医薬品の研究開発および市販後調査過程で収集される医薬品情報
3. 医薬品情報の情報源の種類と特徴
4. 医薬品情報の検索と収集法
5. 医薬品情報の内容の理解と質の評価法
6. 医薬品情報の加工と提供法
7. EBM と医薬品情報
8. 医薬品情報に関わる法制度
9. 医薬品情報解析のための統計学

### 到達目標

〈モデル・コアカリキュラムC15(1)〉；授業計画1～8

医薬品の適正使用に必要な医薬品情報の種類と特徴について説明できる。医薬品情報の収集・評価・加工・提供・管理法と関連する法制度について説明できる。

〈モデル・コアカリキュラムC17(5)-1～2〉；授業計画9

主な多重比較検定法および多変量解析の概要、臨床試験の代表的な研究デザイン、バイアスの種類、盲検化、ランダム化について説明できる。オッズ比、相対危険度、信頼区間について説明し、計算できる。基本的な生存時間解析法の特徴を説明できる。

### 授業方法

教科書とプリントを用いた講義、演習などで授業を進める。

### 評価方法

定期試験、出席状況、レポート等により総合的に評価する。

### 教材

教科書：「医薬品情報学 第3版」山崎幹夫 監修（東京大学出版会）